

奪われたハンドル

検証

浦和電車区事件の真実 No.10

民主化闘争情報 [号外] 2008年10月29日発行 日本鉄道労働組合連合会 (JR連合)

第10回 退職へ

2001年3月12日の勤務を最後に長期休暇に入っていた吉田氏は、4月19日より、浦和電車区の内勤業務に就きましたが、JR東労組役員らは内勤室でしつこく吉田氏を脅しました。しかし、周囲の管理者は「我慢しろ」と言う程度で、守ってはくれませんでした。

5月15日のJR東労組浦和電車区分会の職場集会のレジメには、「私たちは、『吉田問題』の一定の総括を行いました、多くの組合員が発言してきたように、『一緒に仕事はできない』『信頼しない』などの意見を踏まえ、最終的にも追いつめていく闘いを全組合員が展開しなければなりません」と記載されていました。6月1日には、その方針通り、またも大潤から激しく恫喝されました。そして吉田氏は6月中旬に極度の疲労やストレスから「帯状疱疹」を発症してしまいました。心身ともに極限状態に追い込まれた吉田氏は、6月末に山田から責められたことで、もはや耐えられなくなり、退職を決意するに至ったのです。

7月には区長が自宅を訪れ、吉田氏を慰留しましたが、今さら話をする気はありませんでした。7月31日に退職辞令を受け取った際、別れ際に、区長は、小さな声で「すみませんでした」と言いました。退職の日、吉田氏は、職場で大潤や上原被告に出会いましたが、何も言われませんでした。吉田氏を退職させたことに満足しているようでした。

その後、JR東労組浦和電車区分会は9月9日に分会大会を開き、「組織破壊攻撃は絶対に許さないことを全体で確認し、吉田を脱退へと追い込むことができました。しかし、脱退してからの吉田に対しては追求(マ)が甘くなり、口をきかない、無視をするなど逆に職場にしやすい環境を与えてしまったことは、分会の指導性の弱さでありました」と総括しています。ヒューマンイズムの欠片もない、何と、陰湿、低俗な組織でしょうか。

区長・副区長は「退職はいじめが原因」と裁判で証言

刑事裁判の公判で、浦和電車区区長・副区長は次のように証言しました。(次号に続く)

【検察官】吉田さんが自分の本心で望んでJR東日本を退職したというふうに思っていますか。【区長】思っておりません。吉田さんの退職理由の内容もありまして、自分の本意ではなく、退職したのだと思っております。

【検察官】吉田さんが退職した理由はどういうことにあるというふうに考えていますか。

【区長】いじめからです。仕事に就けられないというような感じで辞めたんだろうというふうに考えています。

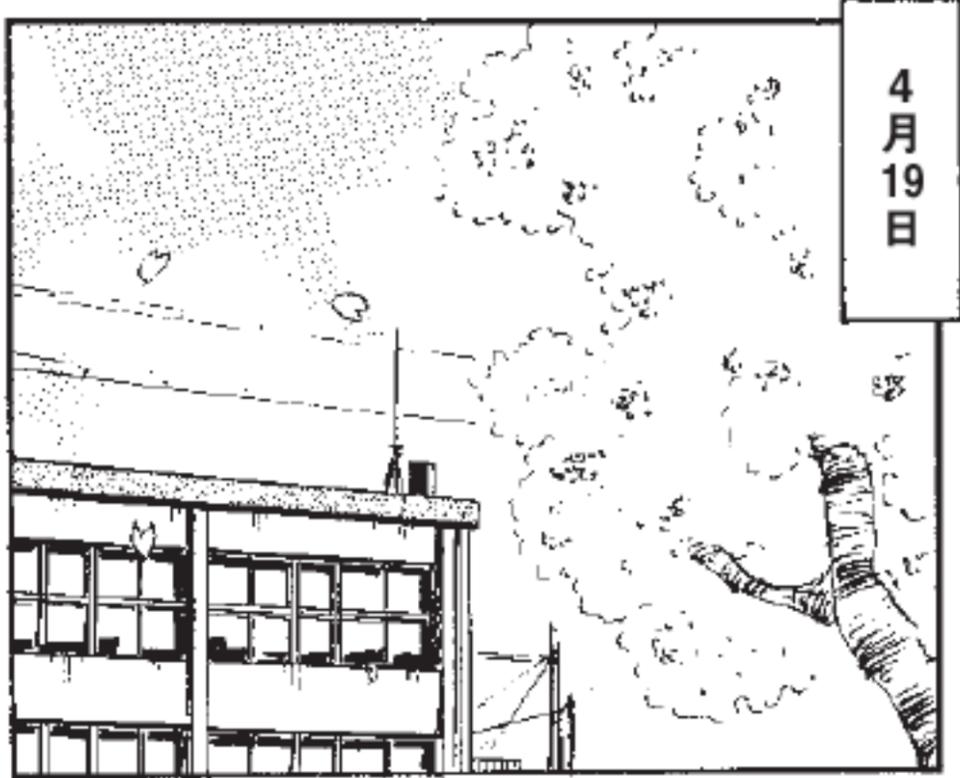
【検察官】吉田社員の退職の理由ですけれども、証人は東労組の組合員からの嫌がらせが原因だというふうに理解しているということですか。【副区長】はい。

【検察官】東労組組合員の言葉による攻撃の程度、強さというものは、どのようなものかと思っておりますか。【副区長】かなり激しいものがあつたかなというふうに思っています。

[第9部]

ついに退職へ

4月19日



緑深まる6月
間もなく梅雨に
入ろうとしている



全ての原因は
お前に
あるんだぞ！

お前
乗務員だろう
身体の具合が
悪いんだったら
分かるけど
そうじゃ
ねえだろう

区長や副区長に
ガードされて
何となくこうして
いられると思っ
てん
だろう



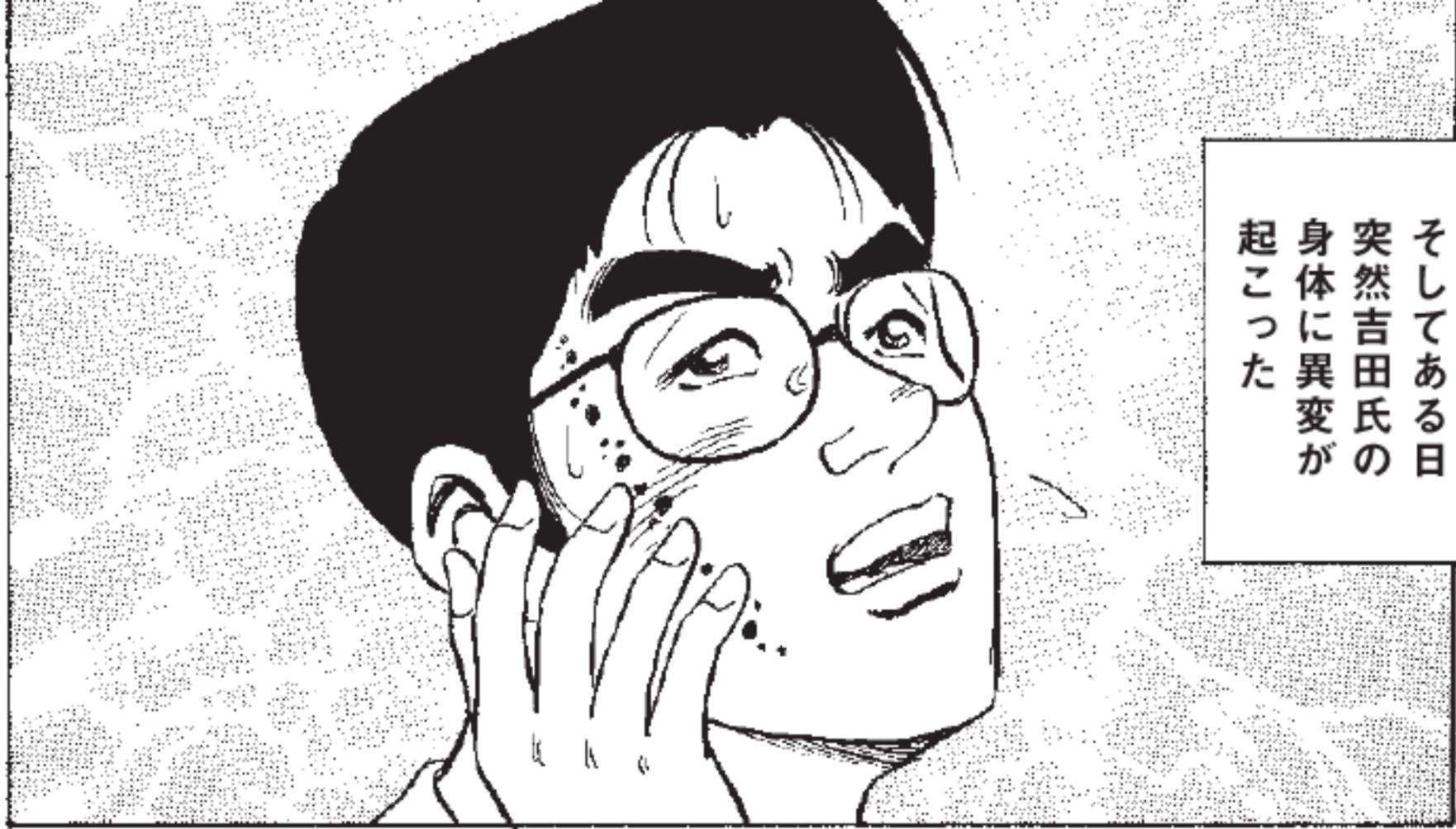
この野郎！
お前がここに
いること自体
頭に来るんだ
許さない
絶対に！

その歪んでいる
考え方を
徹底的に
ぶっ壊して
やるからな

まるきり
なってねえよ
一人の人間と
して

低劣な暴言の数々
「なってない」のは
どちらなのか





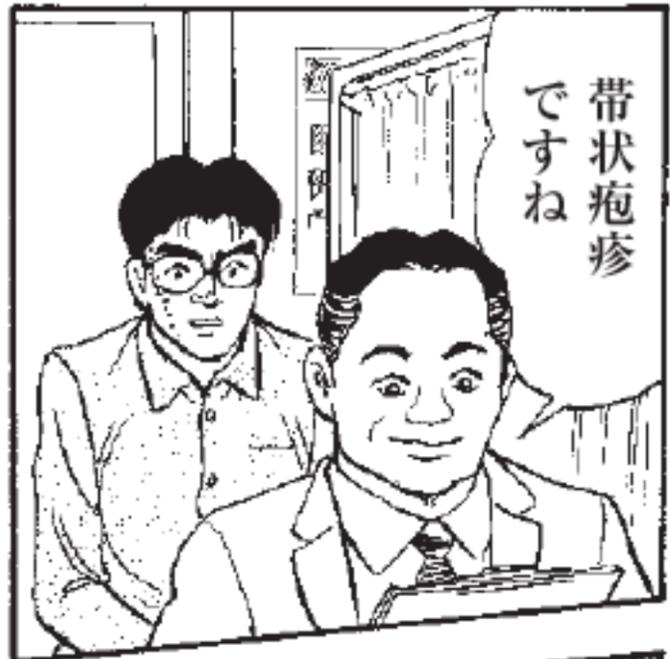
そしてある日
突然吉田氏の
身体に異変が
起こった



しばらく
安静にして
いてください



疲労とそれから
極度の精神的な
ストレスが
原因です



帯状疱疹
ですね



病気はまだ
治り切っていない
が、再び出勤を
始めた



自転車のパンク修理も
内勤の仕事であった



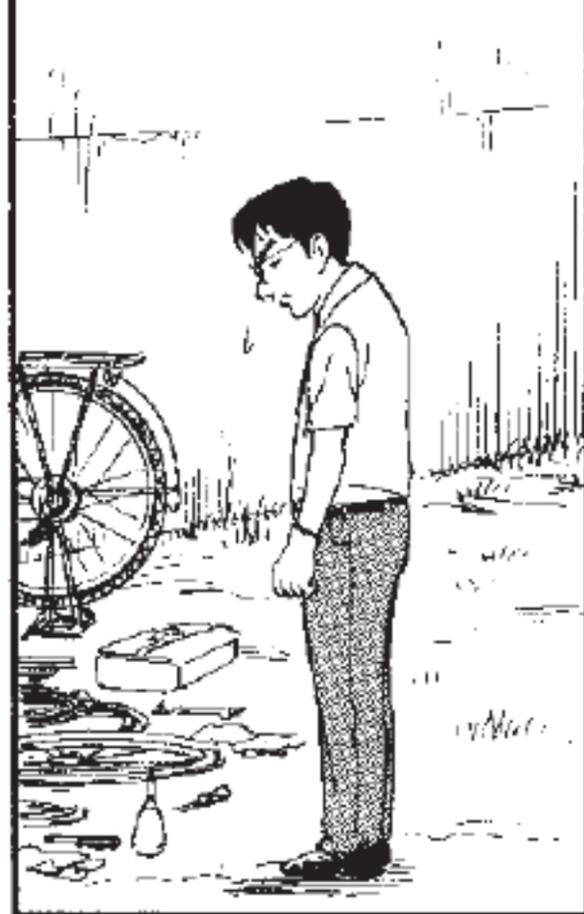
おい
また乗務
するの
か？



それに
病気に
なったん
だろ
いい加減
身の振り
方を
考えたら
どうだ



お前が
乗務したら
組織が混乱
するんだよ
それくらい
分からないの
か



もうダメだ



「身の振り方を考えろ」
非情なこのひと言に、
張り詰めていた緊張の
糸が切れた

結局
この会社には
味方になって
くれる人間は
一人もない



会社を辞める以外
どうすることも
できない

とても勤めて
いられる状態
じゃないんだ

組合の
ことなんかで
会社を辞め
なきゃなら
ないのか

両親は退職に
反対したが
吉田氏の気持ちは
変わらなかつた

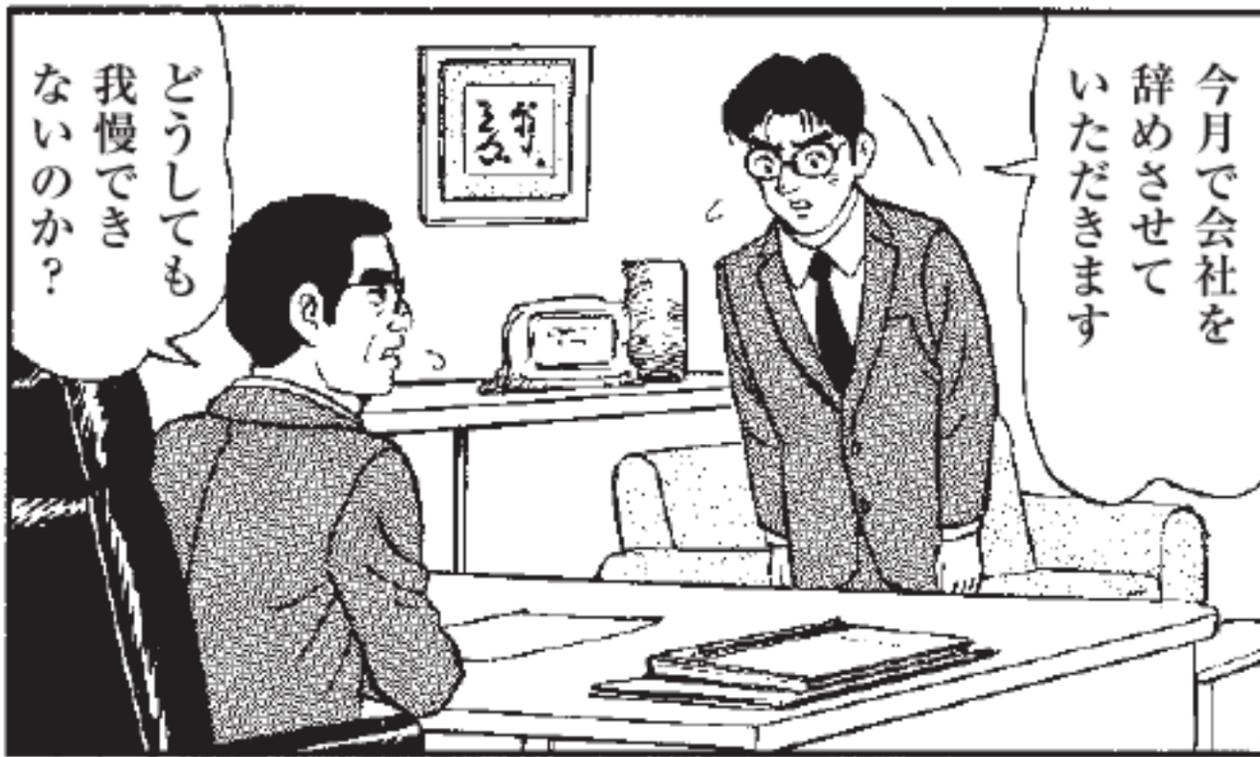
一体
どうなって
いるんだ

もう一度
考え直し
なさい

あんなに
鉄道に就職し
たがっていた
じゃないの

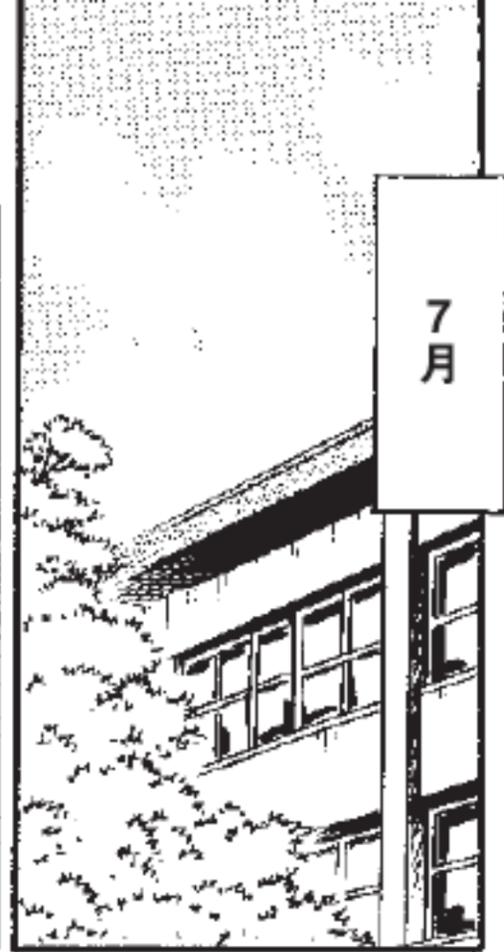
とにかく
退職することに
決めたから

7月



今月で会社を
辞めさせて
いただきます

どうしても
我慢でき
ないのか？

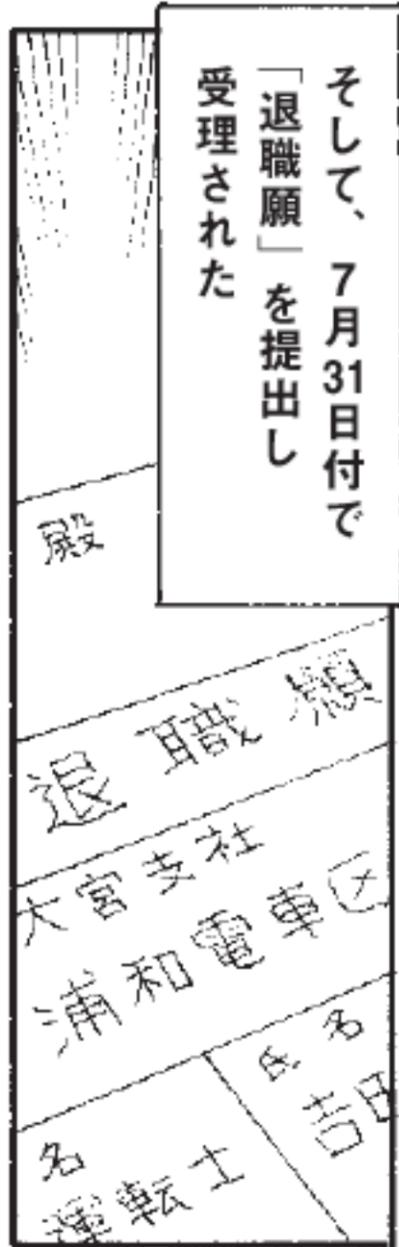


これ以上会社に
残っていても
仕方がありません

何とか
しようと
支社にも相談
したんだけど...



しかし、その後
吉田氏は東労組組合員
による人間の尊厳を
踏みにじるような
執拗な脅迫行為に
対して「告訴」した



そして、7月31日付で
「退職願」を提出し
受理された



いろいろ
お世話に
なりました

そうか...
力になれず
申し訳ない...

東京地裁法廷



証人は吉田さんが
自分から望んで
退職したと思っ
ていますか

区長

いいえ
自分の本意
でなく退職した
のだと思います



吉田さんの
退職した理由を
どう考えますか

いじめからです
仕事に就く
ことができないと
いう感じから
辞めたのだと
考えて
います



副区長

東労組組合員の
言葉による
攻撃の強さは
どのようなもの
だったと
思いますか

かなり激しい
ものがあったと
いうふうに
思います

